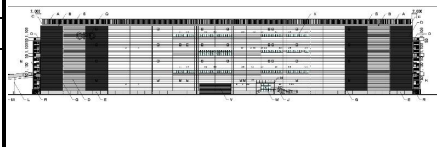


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)CPD枚方物流センター新築	階数	地上4F
建設地	大阪府枚方市長尾峠町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年12月2日
敷地面積	37,589 m ²	作成者	東亜建設工業(株)
建築面積	22,283 m ²	確認日	2019年12月3日
延床面積	82,167 m ²	確認者	東亜建設工業(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
熱環境	2.6
光・視環境	2.8
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.3
耐用性	3.0
対応性	4.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	4.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.8
地域環境	3.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 室内環境、サービス性能に配慮している。 敷地内外環境に配慮している。 エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 開口部遮音性能への配慮。 自然換気性能への配慮。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 階高3.90m以上、壁長さ比率0.1以下等、空間のゆとり に配慮している。 倉庫15000 (N/m²) 以上と、荷重のゆとり に配慮している。
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 高性能断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に配慮している。 LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水性能に配慮している。 リサイクル材の活用 に努めている。 ノンフロン断熱材の採用等、フロンハロンの回避に努 めている。
	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 緑地、中高木を設置している。 メッシュフェンスの設置等、防犯性に配慮している。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能に配慮し、LCCO₂排出率を削減する 事で、地球温暖化防止に努めている。 ガス設備工事無し等、大気汚染防止に努めている。 広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0125

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)CPD枚方物流センター新築工事					
		建設地	枚方市長尾峠町					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		<ul style="list-style-type: none"> 高性能断熱材の採用等、熱負荷の抑制に努めている。 LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。 						